

詐欺被害にあわないために

広島県呉市立吉浦中学校 3年 柳谷 徳香



ニュースで特殊詐欺についてよく耳にする。これまで高齢者を狙ったオレオレ詐欺が多発していて、私はなぜ引っかかるのかと疑問に思っていた。

ある日、私の祖母のスマホに知らない番号から電話がかかってきた。祖母はいつものようにディスプレイを見ずに息子からの電話だと思い込んで電話を取った。たまたま私も祖母の家にいて、同じ部屋にいた。電話の相手は親しそうに「もしもし、オレ」と話をはじめた。しかし、おじさんはいつも祖母に電話をしてくる時、自分のことを「わし」と言う。そして必ず祖母の体の調子はどうなのかと聞いてから話をはじめる。祖母はこれはおかしいと疑問に思い、私はスマホの画面を見せた。

見てみると全く知らない番号で、しかも国際電話表示がされていた。よくニュースで言っている外国の国際番号プラス1からかかってきていた。これは危険だと思い、着信拒否設定をした。もちろん誤って発信ボタンを押してはいけないので、着信履歴も削除した。私は祖母に必ず表示を確認して出ないといけないということを強く伝えた。

しかしあた別日の日、祖母の家の国定電話が鳴った。相手は間違い電話をよそおい、間違いをご縁に不動産を売買しないかという勧誘をしてきた。それも母がたまたま祖母の家にいて、電話をかわり、きっぱり断って電話を切った。

高齢者を狙う犯罪はずっと続いている。私はこれまで人ごとのように思っていた。しかし、そうではない。電話なんか身近にかかるはずないと思込んでいた。

今回の経験で大事な家族が狙われる危険はゼロでなく、誰もが十分にあるということを強く感じた。

最近ではオレオレ詐欺はもちろん架空料金請求詐欺や還付金詐欺に加え、増加傾向にあるSNS型投資詐欺やロマンス詐欺もよく耳にする。高齢者だけでなく、年代関係なく誰もが被害にあう可能性があるということだ。

私はまさか！と人を疑わなければいけない世の中は悲しくて残酷だと思う。どうしてこんな世の中になったのだろう。豊かな社会になっているのに、人をだましお金奪う。しかも会ったことも見たこともない人にだまされ奪われる。犯罪に関わる組織の構造を全く知らない人が安易な気持ちで闇バイトに参加し、自らが受け子となってしまって犯罪を犯す。便利な世の中だが、スマホ一つでポチっと押せば知らいうちに犯罪に巻き込まれたり、時に犯罪に加担してしまったりすることもある。そうなれば被害者はもちろんその家族も、知ら

ないうちに加害者になった人やその家族も心は傷つき、ずっと後悔をすると思う。

情報があふれるこの社会は便利だが、心の豊かさが欠けているのではないかと思う。

家族のつながりをはじめ、近所のつながり、町のつながりが薄くなっている人が多くなっているのではないかと感じる。スマホが友達で、実際の人とのつながりがなく孤独になっているのではないか。

犯罪を未然に防止するために警察などがチラシやステッカーなどを目につきやすいように掲示したり、家族や銀行員やコンビニの店員が声かけをして被害を防いだりもしている。

被害にあわないためにも、まずは正しい情報を見極めることが一番大切だと思う。何が真実で何がフェイクか？嘘の情報もSNSなどで拡散されて、いかにも本当のように出ていることもある。それを信じ、また人に伝える。嘘が正しい情報のように思えて信じてしまう。負のスパイラルに巻き込まれないためにも本当のことを知る必要がある。最近はテレビでも詳しく詐欺の手口内容を紹介している。知らない番号からの電話には出ない。メールに添付されているリンクにアクセスしない。何よりおかしいと思ったら一人で判断せずに家族や友人、警察などの行政機関に迷わず相談することが大事だと思う。

一人でも多くの人が被害者にも加害者にもならないために、相談できる社会環境がしっかりと整い、心の豊かな社会になれば犯罪が減り、人を疑わなくてよい本当の平和な世の中になるのではないかと思う。